

【催し・発表部門】

- 日時／2月19日(土)午前9時
- 場所／ふるさと総合センター
- 大方中吹奏楽部による演奏
- 町内(大方地域)小・中学生による人権作文発表
- 浜松解放子ども会(オペレッタ・劇 ほか)
- デイサービス参加者の方々
- 女性学級・黒潮町職員労働組合落解放研究所(劇)
- 大方中央保育所(うた・踊り)
- 大正琴教室参加者の方々
- 保・小・中学校教職員(歌)
- おらんくの先人紹介

【記念公演】午後1時30分



記念講演は、しまむらかずおさんによるトーク&コンサート

【出店】

ちらし寿司、炊き込みご飯、なまこ、たたき、じゃこ飯、花の苗、グアバ茶、ぷちお好み焼き、コーヒード、綿菓子、フランクフルト、日本そば、お菓子、やきとり、おでん などの販売  
※販売は催し終了後に開始します。

【展示部門】

- 日時／2月16日(水)～20日(日)
- 場所／大方あかつき館
- 小学生人権標語、小・中学生人権作品(書道・絵・ポスター・詩など)、大方中央保育所児童作品、大方生華園・大方誠心園活動紹介、町民館デイサービス活動紹介

○お問い合わせ

大方町民館(2011大方人権まつり実行委員会事務局)  
☎ 43-1204(直通)

平成22年国勢調査にご協力いただきありがとうございます

平成22年10月1日を基準日に実施しました「平成22年国勢調査」では、町民の皆さんにご協力いただき、無事に調査・審査・提出が完了しました。誠にありがとうございました。

調査期間中におきましては、報道でよく他市町村においての事例などありましたが、黒潮町では事故や混乱などなく、調査および審査を行いました。結果につきましては、昨年12月に県から「平成22年国勢調査

高知県人口速報(暫定値)にて発表されました。高知県では前回調査(平成17年)より3万2011人減少の76万4281人、世帯数は2675世帯減少の32万1764世帯となり、黒潮町では1067人減少の1万2370人、世帯数は161世帯減少の5012世帯となっています。なお、県速報値は総務省統計局が公表予定の「人口速報集計(2月予定)」の数値と異なる場合があります。

また、少子化・高齢化の基本データなども順次、公表(総務省統計局、10月公表予定の「人口等基本集計」など)していきます。

皆さんのご理解とご協力、本当にありがとうございます。

○お問い合わせ

本庁総務課企画振興係  
☎ 43-2177(直通)

カツオ摂取における「フリックカーテスト」を実施しました

◆フリックカーテストとは  
覚醒レベルを反映することが知られており、精神疲労や眼精

疲労などの指標として利用されている実験方法です。



装置の黒い筒の部分を見ると点滅している光が見え、その点滅速度を上げてもらつきを知覚できれば疲労度は低く、逆に知覚できなければ疲労が溜まっていると判断します。

◆実験の目的

カツオやマグロなどの回遊魚は、長距離を移動するため筋肉中に疲労回復効果のある「アンセリン」という物質を含んでいます。高知大学の受田浩之教授監修のもと、このテストを用いて、カツオを一定量食べる週と食べない週で眼精疲労にどれだけ差が出るかを調査。黒潮町に水揚げされたカツオの疲労回復効果を検証し、黒潮町産カツオのブランド化などに生かすものです。

◆実験の方法

- 第1週目／カツオを食べない
- 第2週目／カツオを毎日100g 食べる
- 第3週目／カツオを食べない
- 第4週目／カツオを食べない
- 第5週目／カツオを毎日100g 食べる